

経営比較分析表

佐賀県 神埼市

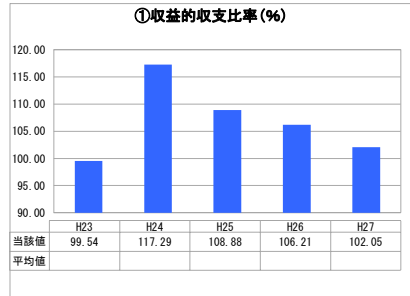
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	31.62	85.00

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,253	125.13	257.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,148	2.94	3,451.70

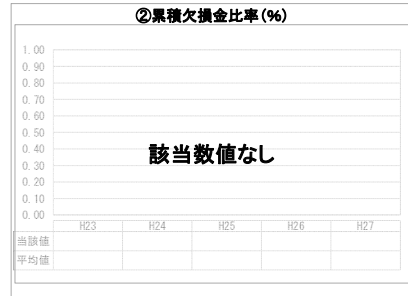
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 平成27年度全国平均

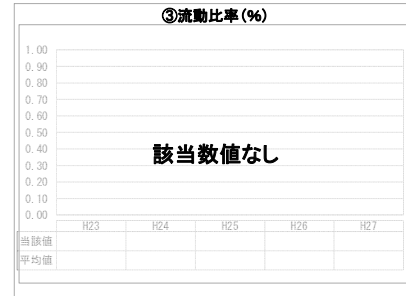
1. 経営の健全性・効率性



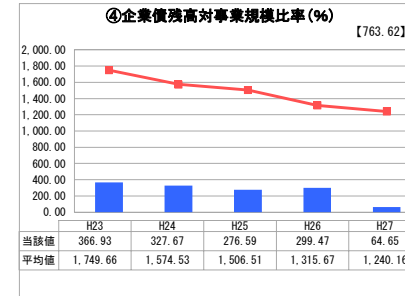
「単年度の収支」



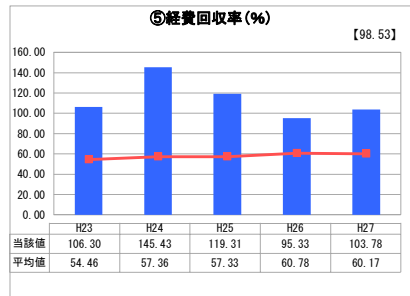
「累積欠損」



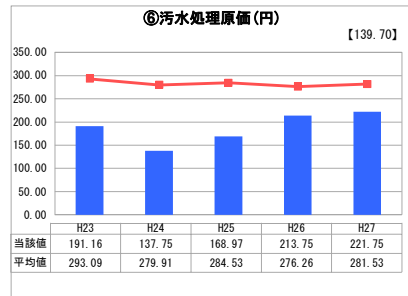
「支払能力」



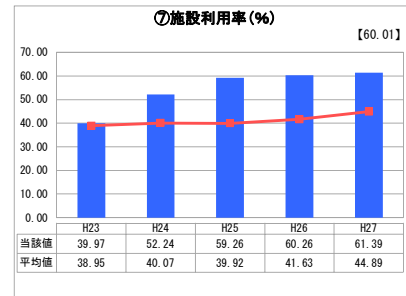
「債務残高」



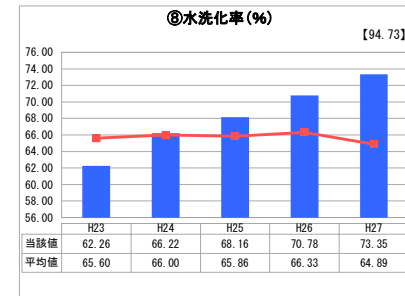
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

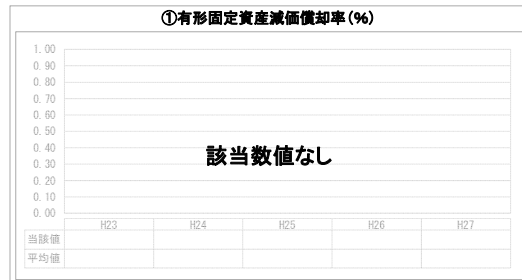


「施設の効率性」

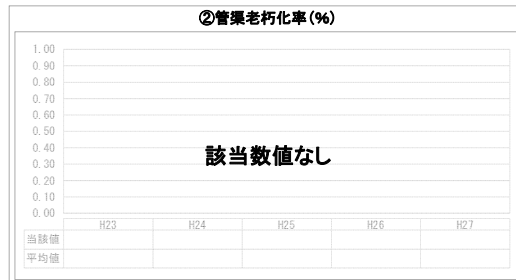


「使用料対象の捕捉」

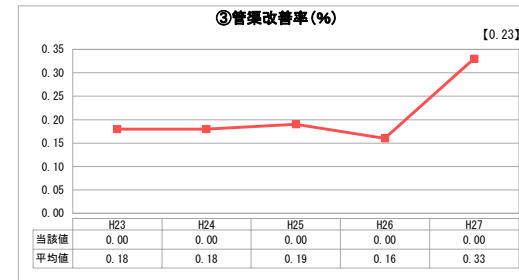
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、平成27年度決算で100%を上回っており収支が黒字の状態ではあるが、減少傾向であるため今後も更なる経費削減を行い、健全経営を継続させていくよう努める。

企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値と比較すると、大きく下回っている。また、経年比較を行うとかなり減少傾向である。経費回収率については、平成26年度決算では100%を下回っていたが、平成27年度決算では100%を超える回復をしている。また、類似団体平均値と比較すると、大きく上回っている。今後も適切な料金収入の確保を図り、経営の効率性を高めるよう努める。

汚水処理原価については、類似団体平均値と比較すると、平成24年度までは減少傾向であったが、それ以降は増加傾向となっている。

施設利用率については、類似団体平均値と比較すると平成23年度は同水準となり、それ以降は上回って推移しており、経年比較をすると増加傾向である。

水洗化率については、経年比較を行うと一貫して増加しており類似団体平均値と比較すると、平成24年度以降は、平均値よりやや高い水準で推移している。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、管渠の耐用年数が約50年であり、整備が平成10年から開始されており、耐用年数を越えたものがないため、管渠の更新等は行っていない。そのため、管渠改善率の数値は計上されていない。

全体総括

経常的収支比率が100%を上回っており、収支が黒字であるため健全な経営を行っているが、更なる一般会計からの繰り入れの減少に努める。経費回収率は、平成26年度では100%を一旦下回ったものの平成27年度では100%を超える回復となった。更なる経費削減を行い、健全な経営を継続していくよう努める。

また、施設利用率や水洗化率も増加傾向であるため、今後も、増加傾向で推移していくよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。